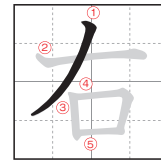
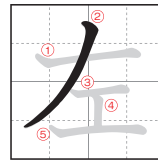


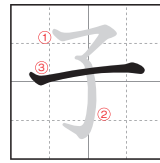
くろい ぶぶんは なんかい目に かくでしよう。□に すうじを かきしよう。



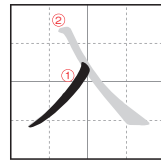
かい目



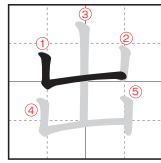
かい目



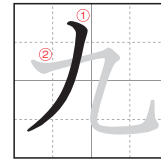
かい目



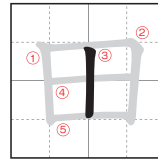
かい目



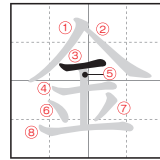
かい目



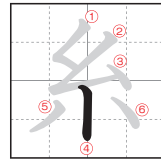
かい目



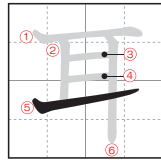
かい目



かい目



かい目

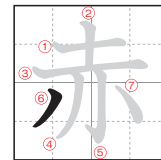


かい目

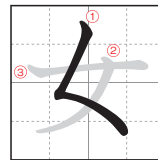
の
かたへ

「おうち」一年生で習う漢字のなかでも、書き順や画数を間違えて覚えがちなものを出題しました。「子」は3画で書く、「右」の1画目は「ナ」など、きちんと覚えるようにしましょう。

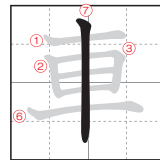
くろい ぶぶんは なんかい目に かくでしよう。□に すうじを かきしよう。



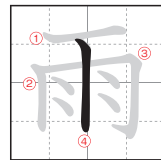
かい目



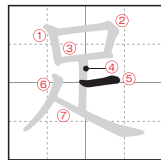
かい目



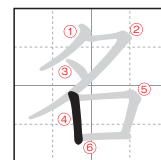
かい目



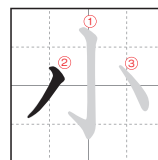
かい目



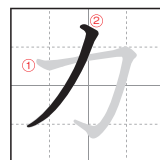
かい目



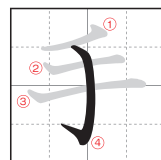
かい目



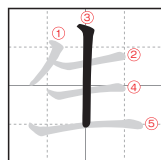
かい目



かい目



かい目



かい目

の
かたへ

書き順を覚えることは、漢字を早く正しく書くうえで重要な要素です。バランスのとれた字が書けるようになることは、子どもにとっても財産となります。今のうちにしっかり身につけるようにしましょう。

よみがなにあうように、一年生でならうかん字でできていることばをかきましよう。

① 日本には山がおおい。

② 四本のえんぴつ。

③ 千円の本。

④ 青空がひろがっている。

⑤ 正しい文字を書く。

⑥ 本気ではしる。

⑦ 左右を見る。

の「かたへ」
「こくご」からKG-076まで、一年生で習う漢字を使った熟語の問題です。単に漢字を書く練習ではなく、実際にどのようなときにその言葉を使うかを、文例とともに覚えるようにしてください。

よみがなにあうように、一年生でならうかん字でできていることばをかきましよう。

① 男子があつまる。

② ものがたりの王子さま。

③ あと十日 たつと、えん足だ。

④ もうすぐお正月。

⑤ 水車がまわっている。

⑥ こうじょうを見学する。

⑦ 大雨で、えん足は中しになった。

の「かたへ」
「十日」の読みがなは「とうか」ではなく、「とおか」と書くことも教えてあげてください。それぞれ熟語について、漢字で書く練習とともに「読み」の練習も同時にするとよいでしょう。

よみがなに あうように、一年生で ならう かん字で できている ことばを かきましよう。

① 学校 がっこう に いく。

② せんこう 花火 はなび を かってもらった。

③ 中学生 ちゅうがくせい の おにいさん。

④ 右耳 みぎみみ が いたい。

⑤ 男女 だんなじよ に わかれて ならぶ。

⑥ あきには お月見 つきみ を する。

⑦ 先生 せんせい に あいさつを する。

の かたへ
「おうち」一度習った漢字を確実に習得するために、「学校」「中学生」「先生」など、関連した漢字や熟語を集中的に復習するの
も一つの方法です。ほかにも「手」「足」「目」「耳」など、実際の体の部分と関連つけながら書くのもよいでしょう。

よみがなに あうように、一年生で ならう かん字で できている ことばを かきましよう。

① 七五三 しちごさん で きものを きた。

② ラッコは、どうぶつえんの 人気 にんき ものだ。

③ はげしい 夕立 ゆうだち が ふった。

④ うんどうじょうの 小石 こいし を ひろう。

⑤ 山の上は、 空気 くうき が きれいだ。

⑥ 水田 すいでん に、おこめが たくさん みのった。

⑦ お年玉 としだま を もらった。

の かたへ
「夕立」「水田」などは、一年生には少し難しい言葉ですが、早い段階から多くの言葉に触れることで
語力がつきます。意味も覚えるようにしながら練習しましょう。

のぶぶんを、かん字に おくりがなを つけて () に かきましよう。

(大きな) (見えた)

① おおきな山が みえた。

(早い) (出かけた)

② はやい じかんに でかけた。

(青い)

③ あおい ハンカチを もらった。

(正しい)

④ ただしい こたえを かく。

(小さい)

⑤ おとうとは、まだ ちいさい。

(立ち) (上がった)

⑥ ころんだが、すぐに たち あがった。

(赤い)

⑦ あかい 花が さいている。

の かたへ
「おうち」 ひらがなを、漢字の訓読みと送りがなに直す問題です。間違えやすいのは「小さい」を「小さい」
としたり、「青い」を「青い」とするなどです。送りがなもきちんと覚えるようにしましょう。

のぶぶんを、かん字に おくりがなを つけて () に かきましよう。

おゆを 入れる ()

① おゆに はいる ()

あかちゃんか うまれる ()

② 草や 木も いきている ()

はしごを のぼる ()

③ かいだんで、二かいに あがる ()

山を おりる ()

④ せいせきが さがる ()

せいでんが さがる ()

山を おりる ()

⑤ せいせきが さがる ()

せいでんが さがる ()

の かたへ
「入る(はいる)」「入れる(いれる)」「上がる(あがる)」「上る(のぼる)」などは、読み方によって送りがなが変
わります。ここでは一年生で習う漢字の中でも特に間違いやすいものを集めました。繰り返し練習しましょう。

小学館
 毎朝プリント
 ●こくご●
 なまえ
 かん字で かごう ⑦
 がつ 月 にち 日
 KG-079

—の ひらがなを かん字に して、文を 書きなおしましょう。

① こがついつかは、こどものひです。

五月五日は、子どもの日です。

② あさはよいてんきだったのに、ゆうがたから、おおあめになった。

あさはよい天気だったのに、夕がたから、大雨になった。

③ だんしはしろぐみ、じよしはあかぐみにわかれて、たまいにれをした。

男子は白ぐみ、女子は赤ぐみにわかれて、玉入れをした。

の
かたへ

KG-079とKG-080は、一年生の漢字を使った文を書くプリントです。これまでに練習した漢字が覚えられているかどうか、ためしてみましよう。

小学館
 毎朝プリント
 ●こくご●
 なまえ
 かん字で かごう ⑧
 がつ 月 にち 日
 KG-080

—の ひらがなを かん字に して、文を 書きなおしましょう。

① ひやくえんだまをよんまいもってまちにいき、えんぴつをさんぼんかった。

百円玉を四まいもって町にいき、えんぴつを三本かった。

② らいねんは、しょうがくにねんせいになる。

らい年は、小学二年生になる。

③ はやおきして、はながたくさんさくやまに、いぬをつれてでかけた。

早おきして、花がたくさんさく山に、犬をつれて出かけた。

の
かたへ

KG-077からKG-080のプリントがすらすらできるようなら、一年生の漢字はほぼマスターできているといえます。できない問題が多いようなら、それぞれの漢字をもう一度復習しましょう。